

## 令和3年度 「まちづくり懇談会」における参加者発言要旨【会場順】

テーマ 元気で健康な「まち・ひと」であり続けるために

## 種類

- 1 まちづくり懇談会全般の意見・感想
- 2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想
- 3 その他の意見・感想

No.	地区	種類	発言要旨
1	玉川	3 その他の意見・感想	<p>【市民】 学校関係の田んぼを手伝っており、以前までは1クラス30人を受けていたが、今年からは4クラス120人でやると体に響いて大変。しかし、大勢が農業体験できることは、大切なことだと思うのでコミュニティスクールの活動を様々などで行いたい。</p> <p>【政策監】 地域活動を行うときに連絡を伝えることや、個々の要望を活かしていくなど便利にまとめられるような技術があれば、担い手も楽になると思う。</p>
2	玉川	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 防災無線で様々な情報を流してもらっているが、ほとんど聞いていない。技術が進めば、吹き込んだ声を文字起こしをし、登録されている媒体に送付してもらえたらうれしい。聴覚から情報を得る方もいるので、放送を無くすわけではない。また、毎月紙媒体で配られているものもデータで送るなどITを使って便利になるとよい。</p> <p>【政策監】 伝えないといけない消防・防災・医療・衛生などは、記録に残り伝えることが重要。</p>
3	玉川	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 親が高齢になり、免許返納を考えなければいけないが、定期的に医者へは行かなければいけない。バスで病院に行こうとしても、必要とする人たちが少なく便数も増えない。特別な機械を使わなくても、顔認証等で時間や場所を予約でき、迎えに来てくれる車があればよい。</p> <p>【政策監】 交通業者・業界と地域合意をしながら、助け合いのことができることが「未来型ゆい」に必要なようになってくる。</p> <p>【須田医師】 迎えに来てくれるサービスは、病院や薬局からの道順などのデータを集約できれば直ぐにでも実現ができる。高齢化が進む中で、訪問診療は今後増えていくと思っている。現在の訪問看護師の仕事の根幹は医者が言ったことを純粹にやることだが、今後は、訪問看護師も医者と一緒に考えながら成長し、ある程度医者の指示を待たなくても様々なことが安全に出来るようになるのと、訪問の中で完結することが増えてくると思っている。そのようなことができると、地域の外からも看護師が入りサービスが充実できるので、スーパーシティ構想の中では、医者でなくても出来ることの役割をシェアしながら、できる人ができる制度へ規制を緩和することをを入れて提出した。</p>
4	米沢	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 米沢線の通学通期バスを子供が利用しているが、曜日や部活動の時期によって下校時刻が変わる。しかし、時間によって路線バスと通学・通勤バスを使うため、2枚の定期券が必要か確認してもらうために課をたらい回しになった。また、運行ダイヤが登下校時刻に合っていない。米沢地区はバス通学強化地区で必要な交通手段なので、検討会議でも通学についても議論し、より使い易い施策にしてもらいたい。</p> <p>【市長】 同じバスに見えるが、バスの運行はそれぞれ法的な役割が違う。今は実証実験をしており、試行錯誤しているなかで朝夕の通学・通勤バスに好評をいただいたがこれで確定ではない。最終的には、現在の循環バス、朝夕の通勤・通学バス、のらぎあのベストマッチができるよう検討しているので意見を集約して構築したい。</p> <p>【教育長】 バス運行にあたっては、意見集約をして子供たちがより良い学びができるようにしたい。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
5	米沢	3 その他の意見・感想	<p>【市民】 北部中に通学する生徒も通学に問題を抱えており、危険なところを通らないといけず様々な方法でお願いをしている。生徒数の多い少ないに関わらず、安全性への配慮をお願いしたい。通学のためのスクールバス等を含めながら、子ども達の通学に関して柔軟な対応が必要だと思う。</p> <p>【学校教育課長】 通学路の交通安全プログラムの中で危険箇所・問題箇所については、現在進行管理をしながら事業を進めている。なかなか解決ができない問題等もありご迷惑をおかけしている。県の管轄になるが、協力してできるだけ早く問題が解決できればと考えている。スクールバス等に関しては、ご意見を伺いながら検討していく。</p>
6	米沢	3 その他の意見・感想	<p>【市民】 塩沢区から北部中学校への通学路が朝でも暗く怖い。LEDライトなどの増設を早急をお願いしたい。</p> <p>【市長】 しっかりと担当課で検討して、対応していきたい。</p>
7	米沢	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 DXが市で進んだ場合、各地区のコミュニティセンターのあり方はどのようなところが変わるのかお考えをお聞きしたい。</p> <p>【市長】 大きく決まったことは何一つないが、コミュニティセンターのあり方をこれからしっかり考えなければいけないと思っており、様々な検討は始めている。区の役も少し検証していきたいと、絶対に必要な役、できればあった方がいい役、なくても良い役の仕分け作業をある程度したいと思うが、検討を地域のみなさんと一緒に話をしていく必要があると認識している。その部分がどのような形になるかによって、コミュニティセンターのあり方を合わせていく必要があると思う。従来通りにやりたくてもやれないこともあり、それぞれ皆さんが苦勞されていると思うので、従来通りやれば一番だが、そこをみんなで乗り越えていかなければいけないと思っている。</p>
8	米沢	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 区の役を引き継がなければいけないが、役員の負担が重く役員のなり手もない。市から広報ちのや様々な文章を配布してもらっているが、デジタル化の観点から配布物も簡略化できないのか。配布物を配ること自体が負担になっているので、全く違う方法を検討していただき少しずつ改善して欲しい。</p> <p>【政策監】 今はスマホ時代になっており、高齢者の方は大変だと思うが、今市としてチャレンジしていることは、様々な市政情報をLINEで伝えている。これが個人データと結びつくと、免許の書き換え時期や健診などの個々の情報が入ってくるようになるので、今提案頂いたことは進めるべきだと思うし、紙媒体だと人手がかかるので紙でなければいけないものと便利になるものを見極めが大切だと思う。</p> <p>【市長】 紙媒体とデジタルの使い分けをして、ダウンロードができる人はデジタルで見れば良いと思うし、紙媒体の方は紙媒体で対応するように当分両方を並行してやることになると思うが、徐々にデジタル化の人を増やしていけば良いのではないかなと思う。実際進める時には相談しながら進めたい。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
9	米沢	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 医者にかかった際採血などで検査をするが、データが検査した診察科だけのデータとして使われるので、別の検査をするために再度採血等をしなければいけない。そのようなところもデジタル化で一括管理ができるシステム構築をお願いしたい。</p> <p>【須田医師】 今までは、個人の情報が医療機関の間でやりとりする時に漏洩の危険、安全性の議論がかなり強かったので非常に慎重に対応してきた。ところが、今は厚生労働省をはじめとした参照ガイドラインなどがある程度整備され、安全性は100%ではないが、医師がカルテを持ち運ぶよりも安全に伝達できる手段が確立されてきている。今の世の中において、提案頂いたことは当然やるべきだが、できない一つの大きな理由は電子カルテの会社が情報を独占しようとする。会社は様々あるが、その会社間のカルテ同士の情報連携は基本的にできない仕様になっており、会社に任せていたら解決できない問題なので、国にデジタル庁ができた。問題が解決できるかもしれないが、先行してDX元年を打出している茅野市は、茅野市の中で医療機関のデータ連携で最低限検査、投薬、アレルギーなどのデータは共有できるように今回のスーパーシティの提案の中に書いてある。ただし、システム連携を実施する時には多くのお金がかかるので、最初によく国やメーカーと打合せをして無駄なものにならないよう検討している。</p>
10	豊平	1 まちづくり懇談会全般の意見・感想	<p>【市民】 DXやスーパーシティの話は、細かなところまで消化しきれなかった。これを私たちが地域へ帰り一通りの説明をすることは、なかなか難しいと思う。地域住民への説明会や忌憚のない意見交換ができる機会を作ることも必要になると思う。</p> <p>【市長】 これからデジタル化だけではなく、茅野市のまちづくりそのものをどうしていくかという話を、一つ一つのテーマで議論していかなければいけないと思っている。</p>
11	豊平	3 その他の意見・感想	<p>【市民】 以前までの陳情は、市長と直接行き会って要望をした。現在は、地区の中で困ったことがあれば、要望書をコミュニティ所長を経由し、それぞれの課で対応してもらおう。そのスピード感がものすごく早く処理され、返答がきて、なおかつその返答も、私たちの身になった返答をしてもらえるところが改善されている。今日この場でお礼を申し上げたい。</p> <p>【市長】 ありがとうございます。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
12	豊平	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】豊平地区における農業について、現状の農業をどのように見ているか、今後の農業のあり方や方向性を聞きたい。</p> <p>【市長】豊平地区に限らず、茅野市全体の農業という意味合いになるが、例えば、若い人たちで農業を一生懸命やっている方々もたくさんいる。ある人は、愛知県の方から元々IT企業にお勤めの方が茅野へ移住され、花を作っている。その方に、どうして茅野へ来て花を作ろうと思ったか聞いたら、いろいろ調べてみると、割と農業は補助金にメニューがあるので、1人のサラリーマンが、まとまったお金がそんなになくても起業することを考えたら、農業という選択肢はかなりあるとその人は言っていた。若い人たちの中には様々な考え方を持っていて、農業を新しい形でやろうとしている方がたくさんいる。一方で、年をとって、田んぼをやることや土手草刈ることも、本当に大変になっている方々もたくさんいて、もう息子の代になったら農業をやるのも大変だから、太陽光発電にしてしまう話もある。農業は様々な側面を持っており、一定面積を集約して大規模でやっている農業と、自分の家で食べる分プラスアルファを作っている農家を分けて考えないといけない時代になっている。そこをどのように応援するかについては、様々な意見があるが、環境を守るという意味の農業と、食べるための農業と、商いとしての農業を分けて考えて政策を打ち出していく時期に来ている。</p> <p>【政策監】この地域（豊平）の農業は圃場整備が進んでおり、企業的生産ができる基盤はできていると思うが、山手の方から遊休農地が増えており、もったいないと思う。市町村行政になると、農業の専門家の技術スタッフが市職員にはおらず、事務をやる者が担当しており、2、3年で異動してしまう。そうすると補助金を充てる仕事しかやっておらず、農業生産をどうしたら良いかという相談に乗る体制はあまりできていないと思う。しかも、農協も営農指導員が徐々に少なくなってきたり、営農指導をやっていない感じがする。農業者や若者、地域の高齢者が仲間になり、エゴマやビールホップを作りたい動きがあっても、技術指導ができないところと売り先に困る。専門的な営農指導と、売り先を両立させていくことが、これから重要になると思う。</p> <p>【市民】稼ぐ等の問題ではなく、今現状土地を維持していかなければいけない立場にあるので、スーパーシティーも何回か聞いているが、農業をどのようにするのか、市長のこれからの手腕を見たいと思う。</p> <p>【市長】世の中の的にスマート農業も結構動いているので、これから様々な視点で話ができればと思う。</p>
13	豊平	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】衆議院選挙が終わり、後藤代議士が厚生労働大臣として継続すると思われるが、説明の中で、須田医師から厚生労働省の壁という部分があったが、どのような形でも規制緩和を突破できるような取り組みをお願いしたい。</p> <p>【市長】ありがとうございます。頑張ります。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
14	泉野	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】構想はとても良いと思うが、問題が多くあると思う。個人情報保護法やドローン飛ばすにしても個人の土地の上は飛ばせないなど法律の問題が様々あると思うので、その部分をクリアにして欲しい。2年程前に市長から地域通貨と健康管理を一緒にやる構想があった。9ページには内容が掲載されていないが、2年経過しているがどう進めるのか。</p> <p>【政策監】地域通貨は内需を拡大するという意味で、外需を取り込み助け合いをしていく重要なこと。様々な模索を、商工会議所などと協議をしていると思うが、各地域の状況を見ると大掛かりに始めるより、できるところから始めた方がいいと感じる。現在、観光事業者を中心に宿泊飲食、それを地元の方にも利用できる形で、ポイント制アプリを開発しているところ。できれば外から来た人が宿泊で利用し、そこでポイントがつくようなことや、別荘の方が多いので、別荘の方にリピートしてもらおう。市民の方も、地元の観光や飲食を楽しむとポイントがつくようなところから始め、様々なボランティア活動や、福祉活動に広げていけるように、今年度中にシステムを作ろうと開発を始めている。2月末ぐらいを目途にアプリ開発をし、来年度以降に市民活動などに広げられないかどうか実証していこうと思う。</p> <p>【市長】当初から慎重な意見もあり、庁内や商工会議所などと協議・検討をして、ポイントを作るのも焦らず改良を重ねてバージョンアップができればよいと思う。</p>
15	ワークラボ	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】最近の気候変動の変化による、防災、環境問題に関連して、テーマの中にあるゼロカーボン。防災等に直結する太陽光発電の規制条例の方向性等についてお伺いしたい。</p> <p>【市長】市では条例の検討作業を進めているが、例えば太陽光発電を一切作ってほしくない人もいれば、一方で農地を継いだけれど自分は普段会社に勤めていて田んぼの全てをやり切れないので、一部を太陽光にしたいという人もいます。色々な人がいるので、規制をかけて何もなければいいと思う一方、個人の権利をどこまで抑制して良いかまだ結論は出ていないが慎重に議論をしているところなのでご理解いただきたい。一方で、エネルギー問題を解決することを考えなければいけない。例えば、日本のほとんどが火力発電で、CO2の排出を考えるとやめた方がいいし、原子力はCO2を出さないけれど良くないと再生可能エネルギーをメインで考えなければいけない。要するにエネルギーミックスをどうしていくかが重要な課題となっている。</p> <p>【政策監】私有財産の縛りもあるが、各地域の役割を考えていく必要があると思う。この地域になぜ人々が訪れるのかといえば、癒されることや、本当に自然の良さを感じ、景観のよさで本当に感動することがあるので、私たちが後世の子ども達へ残すことは何なのかを、各地域でこれから考えていくことも重要。そのためにも、地域で何ができるか、余剰のものをやりとりして賢いまちづくりをやることが重要で、電力需要が足りないので、太陽光発電などで電気を売る時代は徐々に転換されてくると思う。具体的な話だと、環境保全条例の見直しをしながら、保護地域について皆さんにもパブリックコメントで意見を聞いていくことを考えている。県も野立て太陽光はなるべくなくして、屋根の上でそれぞれの家庭や事業所が作るゼロカーボン戦略を6月に策定しているので、世の中の動きを見ながらこの地域の大切なものを守りながらエネルギー問題を考えなければいけないと思う。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
16	ワークラボ	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】スーパーシティやDXは大賛成で、今あるものを活用し、ゆとりある便利な世の中にしていただきたいと思う。その中で、介護の話や教育の話、健康づくりの話にも関連するが、DXを使って市民生活にゆとりある時間が生まれれば、今後の生活や生き方が変わるのではないかと思う。</p> <p>【市長】ありがとうございました。ご意見を参考にしながらやっていきたい。</p>
17	湖東	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】データのマッチングで、一つのデータを必要なところをうまく使い回す時のデータを管理することの信頼性はある程度担保されないと、市民は協力的にならないと思いますが、そのような心配に対してはどう考えているか。</p> <p>【須田医師】データの安全性は何よりも大事で、11頁に身近な市民生活が便利になる仕組みづくりの前のところから、安全な本人確認・データ管理を行う仕組みづくりと書いてある。これが担保されないで、データの収集だけ先行してしまう事は避けなければならない。今様々な技術が進んでおり、昔よりも、データを安全に管理する技術は非常に優れてきている。今情報が取られたと大騒ぎになりますが、実は人間が持っている情報よりも、クラウドという人間の手を離れたところに置いた情報の方が、全体としての安全性は高いのではないかという考えもあるので、安全性を100%目指していくが、その安全が破られた、もしくは、もっと安全な方法があるとわかったときにアップデートしていくことを常に怠らないようにすることが一番大事ではないかと思う。</p>
18	湖東	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】ハザードマップの重要記載事項の中にこの部分は危ないという記載がない。集落の中でも高低差があるが、洪水になれば被害を受ける可能性がある。思い切って、あぶない地域に家などを建てることをしなければ災害が起きる前に防ぐことができるのではないか。</p> <p>【政策監】どこでどんな災害が起きたなどの情報を今後データとして入れていくことが必要になる。これから法律が変わるかもしれないが、不動産取引の宅地建物取引上、重要記載事項の中に災害の状況を知らせると記載があるが十分ではない。今後様々なデータが重なって見えるようになるので、過去に起きた災害のデータなどを入れておくことで、法律で決められていることがこの地域では共通の認識になり都市計画がやりやすくなる可能性もある。大災害が過去に起きているのに、何十年も経ってしまうと忘れてしまい危険個所に建築物が建つことが無いようにデータ蓄積をすることが大切で、『安心安全なまちづくり』につながる。3Dマッピングで、どこに水道管が入っているのか、ガス管や電線が走っているのかを、画面で把握できるようデータを入れ込んでいる。これが進むと、家を建てる時や道路工事をするとき事前に画面上でわかるようにしていきたい。インフラデータが今後極めて重要になってくると思う。</p> <p>【市長】データは個人情報の他にも様々なデータがある。</p>
19	金沢	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】デジタルのネットワーク環境を整備するにあたって、茅野市の中でのクローズの情報と国県へ繋がるようなオープンな情報の2系列あると思う。例えば先日ワクチンの接種率の紙ベースでの集計や、ワクチンの残りが分からなくなることがあったが、そのようなところにもデジタルの技術を入れていかないとダメだと思う。</p> <p>【政策監】市でクローズだけでなく外と繋がるのが重要ではないかということはご指摘の通りで、東京で介護保険の適用を受けている人が、夏に八ヶ岳の麓の別荘に来た時でも同じようなサービスが受けられることも必要なので、日本国内で繋がるのが重要になると思う。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
20	金沢	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 コロナ禍で孤立して若者の自殺の話がニュースになったが、これもデジタル化するとそこについていけなくなり孤立してしまう可能性があると思う。その部分にも焦点を当てて、デジタル化を進めたら自殺者が増えたような話にならないような政策をお願いしたい。</p> <p>【政策監】 ついていけない人を取り残さないということも重要で、今まで特にインターネットが進んでくると、使いこなせる人と使いこなせない人の情報格差が大きくなり、ついていけない人は落伍者になり自殺してしまうことがあると思う。今まで情報として取り込めなかったものなどを繋ぐものがデジタルであって、アナログの中で活かされていないものや大切にされてきた優しさや温かさを、今後デジタル社会でつくれるかが人類の挑戦になってくると思う。知っている人だけが勝つ時代は見直されないといけず、情報を取りに行くためにCo2を多く排出して世界の環境を悪くしながら進めた20世紀だったが、21世紀は本当のやさしさがデジタルと共生するような社会が必要になる。</p> <p>【市長】 デジタル技術は、上手に使えば便利でいいものだが、使い方を間違えると人の命さえ奪う面もあるので、皆さんが心配されるもよくわかる。だからこそ、小さいうちから使い方を勉強し、間違った使い方をしないことが重要。</p>
21	金沢	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 スーパーシティ構想の中で、本当に市民に密着したデジタル化ということになると、それぞれの地域や各種団体に、どの仕事が付加価値を生まない仕事でやめていいものなのかを細かい部分まで入り込まないと、地域で実用化できるシステムになってこないと思う。</p> <p>【政策監】 各種団体の細かなところまで入り込まないと付加価値が生まれれないと思う。デジタルを優しくつなげるためには、社会の様々な場面でどのようなことが起こり、苦しみ、利益が出ているのかを最初は細かに拾い上げて作業をしていかなければ付加価値も見出せないし、ついていけない人を生み出す事になるので、切り換え作業は大変だがご協力をお願いしたい。</p>
22	金沢	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 政策は非常に大事なことだと思うので、これから茅野市が先駆けて実施し、インフラ整備もしっかりやり、暮らしやすい茅野市にして欲しい。デジタル化の問題と正反対で、市民活動やボランティア活動が盛んになることで、他から見て茅野市は市民が面白いことをやっているの、茅野へ行くと面白いことができそうな雰囲気が出ないと市全体の魅力が半分と感じられる。富士見町が移住相談や移住者が面白いことをやって注目されており、茅野市の活動も追い越されそうな勢いなのでこちらの部分にも力を注いでいただきたい。本当の良さを住民が分からないと地域の元気は出ないのではないかな。</p> <p>【市長】 質問内容とデジタルの話は関係が深く、若い人たちは集まりをしたいときは、LINEなどのSNSを使って連絡を取っており、事前の打ち合わせも現地に集まるのではなく、web会議で打ち合わせをやり、準備を進めるやり方によって変わってきている。デジタル技術を多く取り入れている世代だからそのような手法を用いているが、時間を短縮でき、結果は同じようになっている。従来のコミュニティと違うコミュニティとかかわりを持つことが、『未来型ゆい』のイメージに繋がる。その部分も大切にしながら、従来の地域コミュニティを大切にすることもやっていきたいと思う。富士見との差については、富士見の方が先駆けて事業展開をしており、今茅野市は後ろを追いかけており、追い越されるということはない。テレワーク施設も機能的には同じものがあり、地域以外のところからオフィスを借り、インターネット系・デジタル系の仕事をしている方が主に来ている。茅野市・富士見・原村の八ヶ岳西麓地域は移住人気地域なので、地域全体としてワーケーションの方々や、こちらに拠点を置いて月に1回2回東京に行って仕事をするなどの様々な働き方があるので、そのような働き方ができる場所をこの地域に作ることで、この地域の人が出ていかないようにすること、こちらに来て仕事をしてもらえるように3市町村同じ方向を向いて進み始めた。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
23	金沢	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】金沢地区は、小さい集落なので様々な肩書きをたくさん持っている。デジタル技術でアナログを埋め、内容は変わらず、便利になると聞きいいと思った。様々な役を皆背負っているの中で、その中でも要らない仕事ややらなくていい仕事の整理をしていただき、少なくなった仕事の中で効率化を目指すことも取り組んでほしい。</p> <p>【市長】1人にいくつもの役を抱えている方も多くいるし、区長が終わると翌年の役が決まっていたり、数年間は区の役を続けなければいけない状況が続くこともある。その辺を市からの依頼事項なども整理し、地域の皆さんと話をさせていただければと思う。</p>
24	宮川	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】スーパーシティで茅野市が目標や目指したい都市があれば教えて欲しい。</p> <p>【須田医師】茅野市は福島県会津若松市と情報交換をしながら進めている。東日本大震災で壊滅的な影響を受け、そこから産業と暮らしをどのようにして取り戻そうかという中で、ここ10年程デジタルでもう一度みんなが繋がることに注目してまちづくりをしようとしてきたところ。実践例が様々あるが、会津若松市は先行してやっているの、こちらが真似してうまくいきそうな部分は上手に使っていききたい。</p>
25	宮川	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】私の地区にも小中学生の子どもが何人か通っている。20年ぐらい前と比べて町の中に子供の声がなくなっているように感じ、今の子どもはテレビゲームをやったり、最近はパソコンを学校から支給されて家の中でやっているのだと思う。学校では家庭でのパソコンの使用頻度のアンケートを取ったり、外に出て遊ぶような働きかけはあるか。</p> <p>【教育長】タブレットは毎日持ち帰らず、今は非常事態に備えて週1回持ち帰っている。安全面の管理や普段は外に出ようということは大事にしていきたいと考えている。一番心配されたのが、実践教育が映像で終わらされてしまうことがありましたが、諏訪郡ではそのようなことはせず、実践教育も大切にしている。本当の教育はそこが原点なのでICTを使って上手に繋げたい。</p>
26	宮川	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】先日の授業参観で、生徒がタブレットに感想を記載していたが、その前に先生からの発問に対して誰も手を上げなかった。もしも、10年後に子どもたちが社会人になり、自分の意見が言えない事が怖く危惧している。</p> <p>【市長】フェイストゥフェイスの部分は大切にしていきたい。</p> <p>【学校長】子どもたちが自己主張することはとても大事で、私たちも大事にしているところ。まだそこが実現できていないところは、学校の課題であると思う。パソコンを使って学習をするが、多様な考えの多様な仲間と思いを交換し合って新たなものをつくり出していくためには、コミュニケーション能力が重要。</p>
27	北山	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】今後さらに便利になると思うが、落とし穴はないか。例えば、中央病院に生まれてからの既往歴など、個人データに医師が誰でもアクセスできると個人情報情報が漏れやすくなることはないか。</p> <p>【市長】個人情報の提供をしていただく場合は、本人から許可をいただき提供してもらおう。提供したくない方に無理やり提供させることはないし、誰でも見られるわけではない。医師でも許可を受けた人しか見られないので、見られる人も限られる。データと言っても、例えば災害現場のデータなどは直接的に個人情報とは関係ないので、データと一言で言っても様々ある。個人情報に関するものについては慎重に取り扱うべき。</p>
28	北山	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】データに関して、この情報に国や大企業がアクセスできるのか。また、将来的に、情報が担保できるかというところが心配される場所ですが、その辺は大丈夫か。</p> <p>【市長】オプトイン（本人から承諾を得た情報を提供すること）の方法でやりたい。現在は、仕組み作りの構想段階。</p>



No.	地区	種類	発言要旨
29	北山	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】市長が当選して2年以上経ってどのような運営をしていくのか注目をしていたが、この冊子では令和4年から具体的に動くようで、それまでは構想段階で少し残念な気持ちがあった。11頁の表には令和12年まで刻まれているが、あくまで市が見た試算段階が書かれているのか？</p> <p>【市長】LPWAの実験やのらぎあの実験は既にやっている。GIGAスクール構想は国に先駆けて3人に1台のタブレットを用意した。何もやっていないわけではなく、この2年間は大方コロナ対応に追われており、まずは優先的にやらなければいけないことをやっていた。総合的な話をするには、時間を掛け長い話をしなければいけないが、ポイントとなる部分は少しずつ始めている。すべてが均一に進んではいけないので、進みの早い部分と遅い部分はどうしてもある。コロナ禍の中だが、職員が頑張っていており、何もやっていないわけではないので、ご理解いただきたい。</p>
30	北山	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】今回のスーパーシティ構想にコンサルタントを入れなかったことが良いことのように伝わってきたが、なぜ今回は外したのか？</p> <p>【市長】コンサルタントを入れた方が楽で立派なものができるが、他市町村から刺激を受け、苦勞し、経験をする中で職員も成長出来るため自力で取り組んだ。</p> <p>【政策監】コンサルタントにお金を払ってないだけで、夜中まで様々な専門家と個人的な繋がりなどで外からの知見を取ることは確実にやっている。コンサルを入れるマイナス面は、勝手に内容を作り上げてしまい全国どこでも同じ内容になり、茅野らしさが入ってこないでコンサルを入れずにやって良かった。</p>
31	北山	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】DX化は進めて欲しいと思います。DXを進めるうえで5Gの世の中のインフラを整備していただき、茅野市が先駆けてそのような環境が実現して欲しい。</p> <p>【市長】インフラ整備はやらなければいけないので、5Gの関係はまず、大学でやろうと考えている。</p>
32	北山	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】人口減少社会において今後も担い手不足をどうするかで、DX化の中で福祉や医療という言葉が出るが、福祉に対する考え方を変えて欲しい。福祉と聞くと高齢者中心の支援になるが、働き手を増やすことや、働き手や子育て世代、仕事が無く困っている若人たちなどの福祉を充実させてほしい。</p> <p>【市長】日本の福祉は、障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉などを縦割りでやってきたが、今後は包括的な考え方を国も方針を出してきているので、その様な事業を上手に活用しながら形にしていきたい。</p>
33	中大塩	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】デジタル化に係る費用や、小学生のタブレットを使用する際の各家庭のインフラ整備などのデジタル化を進めていくにあたっての根本となるインフラ整備のお考えは。</p> <p>【教育長】現在学校では、1人1台ずつタブレットを配備しており、休校や学級閉鎖になった場合、家庭と学校を繋ぐが、市内のWi-Fi環境のない在学者の家庭をすべて調べてある。市の予算で約160台近いWi-Fiの機械を買い、大規模休校になった場合はすべて貸出すようになっている。また、その中で、料金の制度設計も現在出来上がっている。タブレットは国と市の予算で購入しており、4、5年経つと古くなるが、国の動向を見ながら方向性を検討する。</p>
34	中大塩	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】DXを進める中で、若い世代は非常に頭が柔軟なので、そこにスポットを当て資源を導入することは正しと思う。一方で、大きな資産として高齢者がいるが、頭が凝り固まっているので、興味のある方は関心を示すが、関心の無い方は、一度話を聞いても引っ込んでしまう。高齢者に便利で楽しいことができることを理解させ、一気に進めることは難しいと思うがこの辺の方法を聞きたい。</p> <p>【市長】今回ののらぎあもコロナ禍でなければ説明会を多くやりたかった。のらぎあに限らず公民館などでみんなが一緒に楽しく勉強ができるような機会を設けていきたいと思う。様々なことをみんな学習し、それを自分たちの自治につなげていくことが、公民館活動の根本的な部分だと思っている。そのようなことも含めて、トータルでこれからのまちづくりのやり方も考えていければと思います、今様々協議をしている最中。</p>

No.	地区	種類	発言要旨
35	中大塩	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 地区役員の仕事の中に莫大な書類と資料がある。部署によっては見て良いもの見てはいけない物の問題があり、タブレットを持って1台で共有は出来ないのではないかと考えている。来年以降1台ずつタブレットを買って、Wi-Fi環境が無いところはどうにするか検討する中で、地区行政へも少ない予算なので補助金制度などを検討して欲しい。</p> <p>【市長】 各地区で人手が足りない中どのように運営していくか知恵を出し合っていてほしいので、市へこんなことをやってほしいなど要望があったら市役所へ出してほしい。</p>
36	中大塩	3 その他の意見・感想	<p>【市民】 社協の活動の中で、一番大変なのはお弁当だと聞いている。データ連携をすることで、お弁当が必要な時に依頼ができるようになると思う。お弁当の配達が悪くから配達されてくるので、市内から温かいものが届けられると思う。</p> <p>【市長】 貴重なご意見ありがとうございました。</p>
37	ちの	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 市内の印刷物・配布物が非常に多いと思うが、そのようなものもDXの中で簡略化してあらゆる情報を簡単に取りやすくなると思う。</p> <p>【市長】 以前から議論されているところで、デジタルとアナログを組み合わせ、データ配信と紙媒体での配布をミックスして区長さんたちの負担を軽減したい。今後区長会の皆さんなどと話をしていきたいと思っているところだが、具体的に市が動いているという話ではないが、大きな課題の一つで各地区の役をどうしていくのかも含めて検討していきたい。</p>
38	ちの	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 ゴミの分別ができていないので、デジタルを使って引っ越してきた市民の皆さんにも満遍なく通知ができるようなシステムを作りたい。</p> <p>【市長】 デジタルの技術を使って多くの人が自分から情報を取りやすく、また周知がしやすくなるように研究を重ねていきたい。</p>
39	ちの	3 その他の意見・感想	<p>【市民】 学校でのごみの分別の学習やごみの学習はどの程度行っているのか。</p> <p>【学校長】 環境教育は例えば総合的な学習の時間で、5年生はごみの学習を市と連携しながらやり、学年に応じて清掃活動を通して分別をすることを指導している。</p>
40	ちの	3 その他の意見・感想	<p>【市民】 国から子育て世代への5万円給付金と残り5万円はクーポンの話が、今進んでいると思うが、クーポンの5万円が現金でも良いという噂もあるので、10万円を現金で頂きたいと思いを伝える。</p> <p>【市長】 国の動向を注視しながら、方針を固めたい。</p>
41	ちの	2 今回のまちづくり懇談会を聞いての意見・感想	<p>【市民】 区ボランティア団体の担い手が減る一方で、対象者は増えており地域コミュニティが崩壊しつつありつながりが薄くなっている。デジタル技術が上手く繋がれば地域が繋がり、情報が万遍なく渡ると思う。簡単な方法で繋がれる方法があれば高齢者にも広く使われると思う。</p> <p>【政策監】 現在様々な区などの役が多いことと、若い人が地域での繋がりよりも同じ目的で繋がることが多く地元還元する方法もあると思う。デジタル的なものが増えれば増えるほど、人間的な関わりを増やしていくことが必要というDX基本構想を今作っている。人と人の繋がりが多い茅野だからこそ、繋がりを行政として守っていくことが必要だと思う。情報の発信については、データが蓄積されると同じ閲覧板が回って来ても必要とする情報がピンポイントで教えてくれるようになるかもしれない。</p> <p>【市長】 担い手とデジタルをどのように両立させるかが重要で、生活スタイルも徐々に変わってきているので区の役を見直したいので、区長会や市民の皆さんとどのような体制が良いか、デジタル技術をどの部分に入れた方が良いのかなど話し合いをしていきたいと考えている。</p>